



各用土1鉢の芽の状態(野生種)

第1図 1芽からの増殖芽数

れ、そのため全般的に田土区より他の用土区が劣った結果となって現われたと考えることができる。この点を考慮すれば、今回試験した用土は栽培管理次第ではどれも使用可能とみなすことができるが、なかでも広島地方で産し、入手

も容易である真砂土が田土に代わる用土として有望と思われる。今後は、この真砂土にあった灌水、施肥管理法を確立することが必要と考える。

園内気象記録 (昭和55年1月1日~12月31日)

項目 月別	気 温		湿 度		降 水 量
	平均最低気温	平均最高気温	平均最低湿度	平均最高湿度	
1月	1.2℃	7.2℃	43.6%	93.3%	36.5mm
2月	0.0	7.9	46.7	90.7	81.0
3月	3.6	11.6	45.9	93.3	107.5
4月	7.5	16.3	46.8	86.8	122.0
5月	(13.1)	(22.3)	48.9	90.7	275.0
6月	(19.1)	(25.2)	63.3	93.9	145.0
7月	(21.3)	(26.8)	72.5	94.2	408.5
8月	(22.3)	(27.2)	72.6	93.1	426.5
9月	(18.5)	(25.9)	51.6	91.2	79.5
10月	12.1	21.1	55.7	92.3	99.0
11月	7.8	15.7	50.5	92.0	80.5
12月	1.3	7.0	48.1	92.8	33.0
合 計					1893.5

最低温度記録日 12月28日 -4.0℃
 最高温度記録日 7月21日 (31.4℃)

(注) ()内は広島地方気象台発表のものを使用

観測は、本園植物課事務所横に設置した自記温度湿度計(二段記入型、バイメタル、毛髪式、太田計器製作所製)および自記雨量計(隔測顛倒ます型、太田計器製作所製)により行ったものである。
 (高山 信明 記)